

9/13 7:00 AM

鴻池委員長 強行採決やめて

無職

(東京都 73)

揮啓 鴻池祥露様

参議院の特別委員会では、安全保障関連法案の採決が近くあると聞いており、まず。しかし、法案は審議が不十分です。国民の大多数の理解も得られぬままです。特別委員長の職権において採決を強行するようなことは決してないよう、お願いいたします。

日本は戦後ずっと、平和憲法をしたたかに盾にして平和国家を築き、経済を発展させ、復興を成し遂げました。「戦争をしない国」という国際理解は、いまや

確立しています。私は、これこそが最強の抑止力であると思えます。

しかるに、今回の安保法案は、日本国民が昔々作り上げてきた「戦争をしない平和国家」を百八十度転換するものではないでしょうか。戦争をする「普通の国」として、日本を誤った方向に導くものであります。

参議院におきましては、委員長の職権で採決が強行されました。「良識の府」再考の府」参議院におきましては、この法案を可決して歴史に汚点を残すことにならぬように、十分な審議を重ねてお願いいたします。

安保反対デモ 海外に伝われ

無職

(兵庫県 74)

東京の友人から「日曜日の国会前デモに行ってきた」というメールが来た。8月30日の安全保障関連法案反対デモのことだ。彼はかつて一流商社で役員を務めた人で、積極的な保守派。そんな彼が自分の意思で、しかも奥さんで行ったという。その変化が非常にうれしかった。一方、廃案を願いつつもデモなどに参加するきっかけを逸していた私は「先を越されたな」と思った。

同じ日に、フランスからメールが入った。約20年前にパリ駐在中に知り合った同年代

のフランス人からだ。「東京

での大きなデモは何なんだ」と驚いていた。「戦争するな」と国民が非常に怒っているらしいが、いつからそんな話になっているのか、どの国との戦争なのか教えて」といふ。現地のテレビニュースで詳しい説明なしに国会前のデモの映像が短時間流れたようだ。

安保法案の説明はなくとも、映像だけでも日本の今の姿が海外で流れたことには価値がある。国民が安保法案に反対し、憲法9条堅持を願っていることが海外に伝わるのは良いことだ。やはりデモは大きな力なのだと思う。

人生破壊されぬようデモへ

作家

(東京都 82)

安保法案に反対するデモの参加者が国会前に12万人集合した。東京・新宿の繁華街にも1万2千人がはせ参じた。安倍政権が強行する戦争可能国家への改造、民主主義の否定に対して危機感を抱いたからだ。

安倍晋三首相は国会で圧倒的多数を占める与党を牛耳る。主権者の反対に目や耳をそらして、政権を私物化している。戦争を知らない人ほど戦争をしたがる。政権の暴走を阻止しようとする国民の大多数はそれ

ぞれの仕事、学業、時間、体力、家族を犠牲にして自由と平和を守るために集まり声を上げている。それなのにある政治家は「たったあれだけの人数」と言った。

安倍政権の暴走を阻止するために集まった人数は単なる数字ではない。一人一人が、より多くの抗議を背負っている。しかも組織や権力に庇護されている人間と異なり、国民は自弁というハンディキャップを負いながら闘っている。一人一人の国民が独裁者に一度限りの人生を破壊されぬように集結しているのである。